

Bluetooth® 完全ワイヤレスイヤホン
RTWS06シリーズ

取扱説明書

ご購入ありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。安全に正しくお使いいただく為に、必ずお読みください。

■安全上のご注意

安全にお使いいただく為に必ずお守りください

危険

「誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性があり、その切迫の度合いが高い内容」を示しています。

- 本製品の充電式電池(リチウムイオン電池)が液もれた場合は素手では触らない
- 充電式電池の液体が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診断を受けてください。失明の原因となる恐れがあります。
- 充電式電池の液体が皮膚や衣服に付着した場合もすぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に違和感のある場合は医師の診察を受けてください。

警告

「誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- 本製品を病院内や医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 航空機内などワイヤレス機器の使用が禁止・制限された場所ではその指示に従う
電波が影響をおよぼし、機械の誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 「自動車」「バイク」「自転車」などの運転中は使用しない
周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因となる恐れがあります。
- 路切や駅のホーム、自動車の通る道、工事現場等、周囲の音が聞こえないと危険を伴う場所では使用しない
交通事故の原因となる恐れがあります。
- 乳幼児の手の届く場所にはおかない
誤飲の恐れがあり、窒息などの原因となる恐れがあります。
- 火の中に入れてはならない、加熱しない
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。
- 水の中に入れてはならない
感電・火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
破損・故障の原因になります。
- 修理および、分解、改造をしない
液漏れ、感電・火災またはケガの原因になります。
- 異常に気づいたら使用を中止する
異音、異臭、発煙、発熱、損傷に気づいたらすぐに使用を中止してください。

注意

「誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容」や「物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

- 本製品をご使用前に、必ずスマートフォン本体の取扱説明書に記載されているイヤホンマイクに関する項目や注意事項をよくお読みの上、安全に正しくご使用ください。
- 接続する機器の音量調節機能設定をよくご確認ください。最大の設定になっている場合、お客様の耳を痛める恐れもありますので十分にご注意ください。
- 水、飲み物、ペットの尿など、液体がかかったらただちに使用を中止してください。

- 本製品の使用により肌に異常があらわれた場合は、使用を中止し医師の診断を受けてください。
- 使用温度範囲内の環境で充電、使用してください。
- 本製品を充電する際は充電端子から充電してください。
- 高温直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、ホコリの多い場所を避けて保管してください。
- 機器に保存されたデータ(電話帳など電話機に登録された各種メモリーやメディアファイル等)は、本製品の使用に関わらず予期せず破損・消失する可能性があります。メモリーの控えを手帳などに取るか、データのバックアップを取る等して、メモリーが消失しても困らない様にしてからご使用ください。
- 本製品の使用は日本国内に限ります。国外での使用時のトラブル等は一切責任を負いません。
- 本製品の使用に関して、上記の注意に従わない場合、誤った使用方法、用途外の使用による事故、故障、破損、メモリー内容の消失等の補償はお受け致しかねますので、予めご了承ください。
- 本製品の使用(機器との接続を含む)、または使用不能から生ずる付随的な損害(通話内容の変化・消失、利益の損失、それらに伴う諸費用など)に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

■使用上のご注意

電波について

- 本製品は、電波法に基づいて工事設計認証を受けているため、無線局の免許は不要です。
- 本製品は、工事設計認証を受けています。分解および改造を行うと法律で罰せられることがあります。
- 本製品は日本国の電波法に適合した製品であり、他の国の法律・安全規格には適合しない場合があるため、日本国内で使用してください。
- 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器(無線LANを使用する機器・電子レンジなど)の影響によって音声が届かなくなるなど電波干渉による障害が発生することがあります。本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器からは離れてご使用ください。

通信距離について

- 障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品を接続先機器の近くで使用してください。

内蔵の充電式電池について

- バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。
- 十分に充電した状態で使用時間が短くなったり、使用できなくなった場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません)
- 本製品を使用せず長期保管していた場合、バッテリー性能は低下しますが、充電を繰り返すことで性能が回復することがあります。

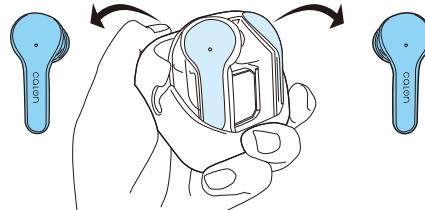
■本製品を処分する場合

Bluetooth機器の回収を行っている小型家電リサイクル回収拠点※にお持ち込みいただくか、お住まいの地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。※小型家電リサイクル回収拠点によって回収品目が異なる場合があります。

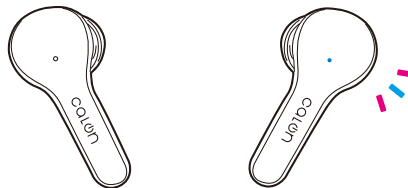
RTWS06 かんたん接続方法

※イヤホンをケースに入れてからご使用ください。

1 充電ケースからイヤホンを取り出すと電源がONになります。

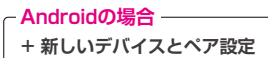


2 左耳用(L)と右耳用(R)のイヤホンのうち、どちらか一方のLEDが赤と青に点滅し、もう一方のLEDが消灯したらイヤホン同士が自動接続されています。



▲この状態になったらOK!

3 スマートフォン等のBluetooth®設定をONにして本製品を検索します。



4 検出された「RTWS06」をタップし両耳のイヤホンのLEDが消灯すると接続が完了します。



動画でRTWS06の接続方法が確認できます。



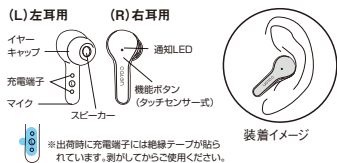
◀こちらのQRコードを読み取り視聴いただけます。

バーコードリーダーの使用方法是機器本体の取扱説明書でご確認下さい。Web閲覧には各社の定めるパケット通信料がかかります。

<https://www.rastabanana.com/movie26.html>

■内容物／各部の名称

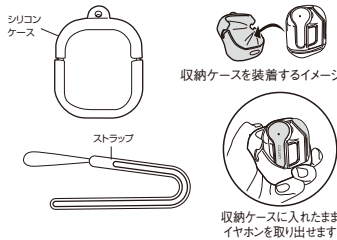
製品本体



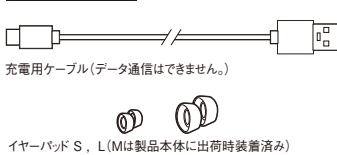
充電ケース



収納ケース



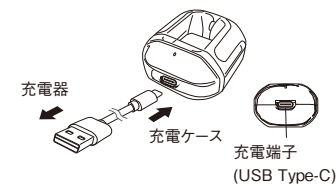
付属品



販売元:株式会社テレホンリース 製造元:株式会社ラスタバナナ
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-13-1
製品に関するお問い合わせ
E-mail: info2@rastabanana.com
土・日・祝日・夏期休暇・年末年始にいたいたメールへの返信は翌営業日以降となります。お問い合わせの際は、製品型番(バーコード下に記載)と、本製品をご使用される機種の記事をお読みください。

■使用方法

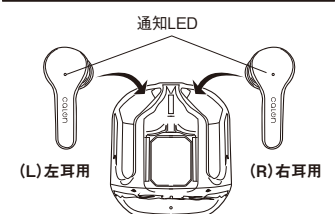
1.充電する(充電ケース)



- 付属の充電用ケーブルを充電ケースの充電端子(USB Type-C)とお手持ちのパソコンもしくはUSBポート付充電器に接続します。
- 充電ケースの充電表示ディスプレイにケースの電池残量が表示されたら充電が開始します。充電中は電池残量の下桁が点滅します。
- 充電表示ディスプレイの表示が「OK」に変わったら充電完了です。
- 充電用USBケーブルを取り外します。

※充電の目安は電池切れの状態から約1時間です。
※製品本体を充電ケースに入れた状態でも充電可能です。

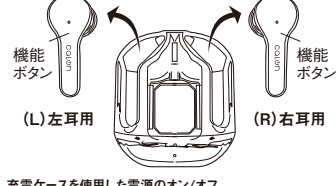
2.充電する(製品本体)



- 製品本体を充電ケースに入れます。
- 製品本体の通知LEDが赤色で点灯したら充電が開始します。
- 充電が完了した製品本体は、通知LEDが青色に30秒点灯した後消灯します。

※充電の目安は電池切れの状態から約1時間です。
※製品本体が満充電になると、充電ケースは過充電防止の為出力を停止します。
※充電ケースにイヤホンの電池残量を表示する機能はありません。製品本体を入れても充電が開始しない場合は充電ケースの充電が切れています。充電ケースを充電してください。(満充電の充電ケースの場合0%のイヤホンを約2.5回充電することが可能です)

3.電源のオン/オフ



充電ケースを使用した電源のオン/オフ

電源オン: 製品本体を充電ケースから取り出します。通知LEDが青色に一回点滅します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Power on)が鳴ります。

電源オフ: 充電ケースに製品本体を入れます。その後充電状態が変わります。

充電ケースから取り出した製品本体の機能ボタンを使用した電源のオン/オフ

電源オン: 機能ボタンを5秒間長押しします。通知LEDが青色に一回点滅します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Power on)が鳴ります。

電源オフ: 機能ボタンを5秒間長押しします。通知LEDが1回赤色に点灯した後消灯します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Power off)が鳴ります。

4.製品本体(L)と(R)の接続



本製品は接続機器とペアリング(本製品を機器に初期登録する操作)する前に、製品本体のLRを接続する必要があります。

- 製品本体(L)と(R)の電源をオンにします。スピーカーから音声ガイダンス(Power on)が鳴ります。
- 10秒以内に製品本体(L)と(R)が自動接続します。製品本体(L)と(R)のうち、どちらか一方の通知LEDが赤青交互に点滅し、もう一方の通知LEDが消灯します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Pairing)が鳴ります。

5.接続先機器とのペアリング

・本製品を使用するためには、お使いの機器と本製品をペアリング(本製品を機器に初期登録する操作)する必要があります。
※接続先の機種やOS(システム)のバージョンによっては操作方法が異なる場合があります。接続先機器の取扱説明書に記載のBluetoothの接続方法の項目と合わせてお読みください。

1.本製品をペアリングモードにする

①製品本体(L)と(R)の電源をオンにします。スピーカーから音声ガイダンス(Power on)が鳴ります。

②製品本体(L)と(R)が自動接続します。製品本体(L)と(R)のうち、どちらか一方の通知LEDが赤青交互に点滅し、もう一方の通知LEDが消灯します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Pairing)が鳴ります。

ペアリング可能な状態になりました。
※製品本体(L)と(R)が接続されている事を確認して、次の項目の操作を行ってください。

2.接続先機器で本製品を検索する

①スマートフォン等の接続先機器のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。

②しばらくすると検索結果に「RTWS06」が表示されます。

3.接続先機器で本製品を登録する

検索結果に表示された「RTWS06」を選択します。製品本体(R)の通知LEDが、消灯します。その際スピーカーから音声ガイダンス(Connected)の通知があります。

ペアリングが完了しました。

※接続先の機器によってはパスワード(PIN/パスキーと呼ばれる場合があります)の入力が必要になる場合があります。その場合は「0000」を入力してください。

※製品本体(L)と(R)が接続されていない場合は、接続先の検索結果に「RTWS06」が2個表示されます。接続先とペアリングする事は可能ですが、片側みのペアリングとなり、ステレオでの視聴は行えません。

2回目以降の接続について

- 製品本体の電源をオンにします。
 - 接続先機器のBluetooth機能が有効にします。
 - 自動的に接続されます。
- ※自動的に接続しない場合は接続先機器に表示されているリストから、「RTWS06」を選択してください。

主なペアリング方法

iOSの場合(iPhone / iPad / iPod等)

【設定】 ▶ 【Bluetooth】 ▶ BluetoothをONにする。
▶ 【RTWS06】を選択 ▶ 接続完了

Androidの場合(スマートフォン / タブレット)

【設定】 ▶ 【無線とネットワーク】 ▶ 【Bluetooth】 ▶ BluetoothをONにする。▶ 【RTWS06】を選択 ▶ 接続完了

※上記は一例です。ペアリング方法の詳細は接続先機器の取扱説明書に記載のBluetoothの接続方法をご確認ください。

6.ハンズフリー通話をする

(着信時)

電話を受けて、通話を開始 ……………機能ボタン(1回短押し)着信を拒否……………機能ボタン(2秒間長押し)
※着信音については本製品のヘッドホンから鳴りますが、すべての環境で保証するものではありません。接続機器と本製品との組み合わせによって異なります。
※接続先機器によっては、本製品と接続中でも接続機器本体から着信音が鳴る場合があります。

(通話時)

通話を終了……………機能ボタン(2秒間長押し)音量調整(大きくする)……………(R)の機能ボタン(1回短押し)音量調整(小さくする)……………(L)の機能ボタン(1回短押し)
※すべての接続機器及び組み合わせでご利用いただける事を保証するものではありません。

片耳での視聴・通話について

【4.製品本体(L)と(R)の接続】と【5.接続先とのペアリング】が完了すると、製品本体(L)と(R)のいずれか片側のみのご使用も可能になります。ご使用になれる側の製品本体のみ電源をオンにご利用ください。
※片耳での使用中は機能ボタンの1回短押しで音量調整(大きく)、2秒長押しで曲送りの動作をします。

通話時のマイクについて

製品本体(L)と(R)が接続された状態の場合、通話時は(L)(R)いずれかのマイクが使用されます。片耳で使用する場合は、電源が入っている側の製品本体のマイクが使用されます。

7.音楽を聴く

接続先機器を操作し、音楽再生アプリケーションを起動してください。再生……………機能ボタン(2回短押し)

(視聴中)

停止……………機能ボタン(2回短押し)曲送り……………(R)の機能ボタン(2秒間長押し)曲戻し……………(L)の機能ボタン(2秒間長押し)音量調整(大きくする)……………(R)の機能ボタン(1回短押し)音量調整(小さくする)……………(L)の機能ボタン(1回短押し)

※Bluetoothの(A2DP)音声出力に対応していない接続機器およびアプリケーションでは、本製品を使用して音楽を聴く事はできません。
※Bluetoothの(AVRCP)リモコン操作に対応していない接続機器およびアプリケーションでは、本製品のボタン操作での再生・停止・曲送り・曲戻し/音量調整を行う事はできません。
※音量調整は接続機器およびアプリケーションと連動しない場合がございます。また、音量調整時及び音量最大・最小時に電子音が鳴る場合がございます。

8.製品本体の初期化

【4.製品本体(L)と(R)の接続】【5.接続先機器とのペアリング】がうまく行えない場合や、本製品に不調を感じた場合は、製品本体の初期化を行ってください。

- 【5.接続先とのペアリング】が完了している場合は、接続先機器のBluetooth機能設定で「RTWS06」をペアリング解除/削除します。製品本体の初期化を行なった後は、接続先機器で初期化前のペアリング情報を選択してもペアリングする事はできません。
- 充電ケースに製品本体を入れ、電源がオフになっている事を確認します。
- 充電ケースから製品本体を取り出し、製品本体(L)と(R)の電源をオンにします。
- 製品本体(L)(R)それぞれの機能ボタンを5回短押しします。通知LEDが短く点滅した後電源がOFFになります。その際スピーカーから電子音が鳴ります。製品本体の初期化が終了しました。

機能ボタン主要操作の一覧

	ボタン操作	LEDの状態
電源オン	機能ボタン(約5秒長押し)	青点滅
電源オフ	機能ボタン(約5秒長押し)	消灯
通話		
着信応答	機能ボタン(1回短押し)	消灯(操作による変化無し)
着信拒否	機能ボタン(約2秒長押し)	消灯(操作による変化無し)
終話	機能ボタン(約2秒長押し)	消灯(操作による変化無し)
音量調整(大きく)	機能ボタンR(1回短押し)	消灯(操作による変化無し)
音量調整(小さく)	機能ボタンL(1回短押し)	消灯(操作による変化無し)
音楽の視聴		
音楽の再生	機能ボタン(2回短押し)	消灯(操作による変化無し)
音楽の停止	機能ボタン(2回短押し)	消灯(操作による変化無し)
音楽の曲送り	機能ボタンR(約2秒長押し)	消灯(操作による変化無し)
音楽の曲戻し	機能ボタンL(約2秒長押し)	消灯(操作による変化無し)
音量調整(大きく)	機能ボタンR(1回短押し)	消灯(操作による変化無し)
音量調整(小さく)	機能ボタンL(1回短押し)	消灯(操作による変化無し)

主な電子音・音声ガイダンス

	電子音・音声ガイダンス	LEDの状態
電源オン	Power on	青点滅
電源オフ	Power off	消灯
LRの接続完了	Pairing	片側が赤青点滅、もう一方は消灯
接続先機器接続完了	Connected	消灯(操作による変化無し)
接続先機器接続解除	Disconnected	片側が赤点灯、もう一方は消灯
電池切れ近い	電子音	5秒間隔赤点滅

■困ったときは

電源が入らない	・電池残量が少なくなっています。付属の充電ケーブルを使用し十分に充電してからお使いください。
ペアリングの際に、接続先機器で検出できない	・本製品がペアリングモードになっていないか、確認してください。 ・接続先機器のBluetooth機能が一度無効にした後で再度有効にしてください。検出されるまでに10秒程度時間がかかる場合があります。
ペアリング後に接続されない	・複数の機器とペアリングを行った場合、別の機器に接続されている場合があります。別の機器の接続を解除するか、Bluetooth機能をOFFにしてから再度接続してください。 ・接続先機器のBluetooth機能が一度無効にした後で再度有効にしてください。検出されるまでに10秒程度時間がかかる場合があります。
音楽が聞こえない	・接続先機器がA2DPに対応していることをご確認ください。 ・音量が0になっている場合があります。接続先機器で音量を調節してください。
音楽は聞こえるが、ボタンで操作できない	・接続先機器がAVRCPに対応していることをご確認ください。
(ハンズフリー通話時)相手の音声がかんこえない	・接続先機器がHFPまたはHSPに対応していることをご確認ください。 ・接続先機器によっては音声の出力先を選択する必要がある場合があります。接続先の取扱説明書をご確認ください。
(ハンズフリー通話時)相手に声が届かない	・接続先機器がHFPまたはHSPに対応していることをご確認ください。 ・接続先機器によってはマイクの入力元を選択する必要がある場合があります。接続先の取扱説明書をご確認ください。
充電中に電源がONにならない	・製品保護の為、充電中は電源がOFFになり操作する事はできません。
音切れやノイズが聞こえる	・電波干渉を受けている可能性があります。障害物や他の電子機器から離れたください。 ・手で製品本体を覆っている場合は、覆うのをやめてください。
音声ガイダンス"Disconnected"が鳴り、接続先機器の音声がかんこえなくなった	・接続先機器と本製品の距離が離れています。接続先機器と本製品を近づけてください。
製品本体(L)もしくは(R)どちらか一方の電源をOFFにしたい	・電源をOFFにしたい方の製品本体を充電ケースに入れる、もしくは機能ボタンを使い電源をOFFにしてください。

※接続先機器の操作方法は弊社でサポートしておりません。接続先機器の取扱説明書に記載のBluetoothの接続方法の項目をお読みください。